

## 長引く咳にご用心

山田クリニック 院長  
山田 修司 先生

咳（せき 咳嗽）とは、肺や気管などの呼吸器を守るために外から入ってきたほこり、煙、細菌やウイルスなどの異物を気道から取り除いたり、気道にたまった痰（たん）を体外に排出する生体防御反応のことです。強い咳嗽は1回当たり2kcalほどのエネルギーを必要としますので、咳嗽が持続することは身体的に大きなエネルギーの消費となります。また夜間の睡眠障害など生活の質を著しく低下させたり、日常生活や仕事上で周囲への配慮、心配など精神的負担にもなります。

咳嗽の原因はありふれた感冒から、精査治療を要する肺炎、気管支ぜんそく、肺結核、非定型抗酸菌症、薬剤の副作用で起こりうる間質性肺炎、さらに致命的にもなりうる心臓疾患や肺がんなどいろいろあります。中には診断がなかなかつかない難しい疾患もあります。季節的に流行するものではインフルエンザやマイコプラズマ肺炎も忘れてはならない疾患です。

一般的に3週間以内に軽快する咳嗽を急性咳嗽と言い、感冒や急性気管支炎のことが多いのですが、胸痛や高熱、呼吸困難などがある場合は肺炎などの重症感染症が疑われますので、早めに医療機関を受診して治療を開始してください。3週間以上続く咳嗽は遅延性咳嗽（8週間以上は慢性咳嗽）と言い、重大な疾患の疑いがあり精査が必要です。

最近ではぜんそくやアトピー性咳嗽などのアレルギー性疾患や、たばこの喫煙が主な原因となる肺気腫や慢性閉塞性肺疾患が増加傾向です。また肺がんの発生率も上昇しています。最後に、咳嗽は一般的にありふれた症状ですが長引く場合は心身への負担は大きく、重大な病気が潜んでいる可能性がありますので、心配なら早めに医療機関へ相談してください。